平成 24 年 10 月 1 日
北上川下流河川事務所

下伊場野水辺の楽校で植物観察会を実施します。

～身近な河川敷の在来植物に親しむ取組みを、地元の小学生と行います～

鳴瀬川の下伊場野地区の堤防植生は、在来植物が多く多様性に富んだ環境となっています。

こうした環境への理解を深めるとともに､河川に親しむ取組として、下伊場野小学校児童を対象とした植物観察会を実施します。

日　時　10 月 3 日(水)　9:30～10:15

参加者　下伊場野小学校児童

場　所　下伊場野水辺の楽校内
（大崎市松山・鳴瀬川右岸 30k 志田橋付近）

当日は講師として、石巻専修大学 根本智行教授（植物系統分類学)、東京大学 根本正之教授（植物生態学）をお招きし、観察した在来種などの特徴や生息環境条件などの説明をしていただく予定です。

＜記者発表先＞　石巻記者クラブ　古川記者クラブ

問いあわせ先
国土交通省　東北地方整備局　北上川下流河川事務所
電話 0225-94-9847　　FAX0225-94-9857
副　所　長　佐藤伸吾（内線２０５）
調査第一課長　佐々木昇平（内線３５１）

参考資料

多様性に富んだ堤防植生づくりによる様々な効果

地域にいきづく植物がいっぱいの堤防づくりにより、様々な効果があります。

①地域を守る堤防の維持管理に携わることで地域の安全・安心への貢献ができます。

- ●堤防植生の治水上の役割の理解
- ●堤防植生に関わることによる維持管理のサポート

②自ら堤防植生の創成に関わることができます。

- ●地域性のある植生環境づくりにより、地域づくりに貢献
- ●地域への愛着の醸成

③河川堤防を、楽しい空間にすることができます。

- ●植物を使った遊び
- ●植物の観賞

④河川堤防を、生きた教材として活用することができます。

- ●理科の学習教材
- ●環境教育の場